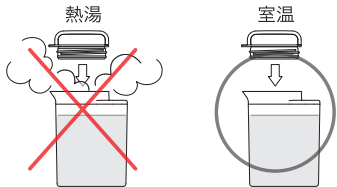


⚠ 使用上のご注意

- この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
また、すぐに取り出せるところに大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 正しい取り付け、および正しく使用されなかった場合の製品の故障および事故に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 製品に細かいキズや割れ等を発見した場合は、破損の恐れがあるため
ご使用をおやめください。
- 次のものは絶対に入れないでください。
 - ・ドライアイス、炭酸、発酵するもの：内圧の上昇により破裂する恐れがあります。
 - ・牛乳、乳飲料、果汁など：腐敗や変質の恐れがあります。
 - ・お茶の葉、果肉など：シール部のつまりによる漏れの原因となります。
- 保存容器としてはご使用にならないでください。腐敗や変質の恐れがあります。
- 冷凍庫やチルド室など氷点下になる場所での使用はしないでください。
液体が凍って膨張し、容器の破損の原因となります。
- 持ち運びの際は必ず本体をお持ちください。
フタが正しく閉まっていないとき、外れる恐れがあります。
- 電子レンジでは使用しないでください。

- 熱湯を入れないでください。**
※ヤケドの原因となりますので、室温程度に冷ましてから入れてください。
※本品は冷水用として製造されておりますので、絶対に熱湯は入れないでください。
本品は気密性が高いため、熱湯を注ぎ入れ、フタをすると、内圧の著しい変化で製品の変形、破損、割れが発生する恐れがあります。
お茶など煮だしたものを保冷する場合は、室温程度に冷ましてから入れてください。



- コンロやストーブなど、火気のそばには近づけないでください。
- 2010年3月以前製造の旧型のものと部品の互換性はありません。
新旧の製品を組み合わせると水漏れしますので注意してください。
- ※新旧の見分け方としては、新型はSPIコード(右図)がフタ裏面の
後方に、旧型は前方(注ぎ口側)にあります。
- フタが斜めに閉まった状態では水漏れしますので注意してください。
斜めに閉まった場合は、もう一度フタを外してから締め直してください。
- フタを閉める際は、パッキンが正しい位置にあることを確認してから
口元が揃うまでしっかりと閉めてください。
正しくフタを閉めない、横にした際に水漏れの恐れがあります。
- 水出し用お茶パック入れを使用される際は、水が溢れないよう容量に
注意してください。
- 水出し用お茶パック入れは水出しお茶パック・水出しコーヒーパック専用
ですので茶葉・コーヒー粉を直接入れないでください。
又、糸付きのお茶パックはホッチキス針の誤飲や糸をはさむことで水漏れの
恐れがあるためご使用をおやめください。



SPIコード